

各 位

佐世保重工業株式会社

2026 年 3 月期 第 2 四半期連結決算に関するお知らせ

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期連結決算状況（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

（１）経営成績

（％表示は対前年度同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第2四半期	7,056	16.0	686	△33.3	832	△24.7	815	△31.8
2025年3月期第2四半期	6,081	△12.9	1,029	152.2	1,105	101.3	1,195	149.5

（２）事業部門別売上高

（％表示は対前年度同四半期増減率）

	修繕船部門		機械部門		その他		合計	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第2四半期	4,969	9.7	1,771	40.4	315	9.4	7,056	16.0
2025年3月期第2四半期	4,530	△16.1	1,262	△4.6	288	9.5	6,081	△12.9

（注）百万円未満を切り捨てて表示している。

2. 当第 2 四半期の概況

当第 2 四半期の連結売上高は、修繕船部門において技術難度が高い特殊船、米軍艦艇および巡視船の修理に積極的に取り組んだことに加えて、機械部門の主力製品である船用エンジン向けクランクシャフトの事業環境の改善による稼働率の向上により前年同期比 16.0%増加の 7,056 百万円となりました。

当第 2 四半期の連結営業利益は、機械部門において稼働率の向上に伴う売上高の増加に加え調達先の多様化による廉価購買等によるコスト削減が進展し前年同期比営業利益が好転し増収増益となったものの、修繕船部門において当上半期の国内艦艇の工事量が低水準で推移したため、技術難易度が高い民間船や米国艦艇などの大型修繕工事に積極的に取り組みましたがカバーしきれず、夏場の操業量が低下した影響により前年同期比 33.3%減の 686 百万円となり、連結経常利益は前年同期比 24.7%減の 832 百万円、連結当期純利益は前年同期比 31.8%減の 815 百万円となりました。

修繕船事業における国内艦艇工事量の回復期待や米国艦艇・技術難度が高い民間案件への積極的な取り組みにより収益力を改善するとともに、機械事業における船用エンジン向けクランクシャフトの事業環境の好転に伴う稼働率の向上を図り収益力の拡大と安定化を実現させ、人員の確保と育成、技術力の強化、老朽設備の近代化などの施策の推進により事業基盤の更なる強化を図ることで、地域社会の発展に貢献してまいります。

なお、本年 5 月に公表しました通期連結業績予想値（売上高 160 億円、営業利益 16 億円、経常利益 18 億円、当期純利益 18 億円）に現時点では変更ございません。

以 上

【問い合わせ先】

佐世保重工業株式会社
経営業務部 川口
(0956-25-9111)